

# 一汁三菜

主食は「逆境」おかずは「トラブル」に「クリーム」。これはすべて生き残るための栄養豊富な滋養です。

世界大競争時代に、生存は難しい。回りに逆境が渦巻いています。一寸先は闇です。

今順調な人は、いつもく

どいようですが、ただ幸運なだけです。逃げるのではなく、逆境をあえて選択する度量が必要では。

従って起きる現象はすべてが想定内なのであります。自分を鍛錬する選択は、精神と肉体の統一です。

苦勞を楽しむ「覚悟」があれば大概のことは、苦勞ではありません。

地上に於いて、すべてに公平なものは「時間」です。人に「時間」を提供する。餅は餅屋。思考時間を軽減のため、補強しこの時間をどう提供できるかでしょう。

時代は秒の千分の一単位で数千億円を動かし取引を成立させる機能の開発競争です。

基準となる定義が科学と技術の進歩によって時間さえも緻密さを増しています。このことは、脳のイメージが何より、優先すること

になるのです。

日本に「一汁三菜」の禅文化がある。

いま米国を主軸とする西洋支配が明らかに閉塞状況です。政権の米追従では、日本の未来は開けられない。

日本ガンバレ。



お盆休みは8月14日火・15日水

人間と何が正しから

「神は」細部に宿る。細部を手抜きをすることは、本来の職人文化ではありません。小さなちよっとしたこだわりが、その人の本質を表すものです。

日本の今日の繁栄は、見えないところにこだわった、良しとしない職人が作り上げたものです。品質と安心、安全が

世界に認められたのです。こだわりの世界は職人に共通するものです。一流の美術や芸術、文化に通ずるものがあります。一つの商品を見ればその国が見えてくるものです。技術やブランドには、秘められた歴史的文化的な秘密があります。

すべての局面に於いて、人として何が正しいか、常に自らが問われているのです。

3・11フクシマ大惨事と、失われた三十年の本質は、日本の集団主義体質と、官僚の政治支配に、誰も結果責任を負わない戦後史です。習慣や規則や

権威に従順な国民性が、我々が今日の歴史的閉塞状況を創り出したのです。

異端児や厄介者・反逆児達、は、現状を否定し規則を嫌う。ただ、いつの時代でも現状否定派が改革の旗手になって来た。出来上がっている世の中やすべ

## 日本文化の特徴と弱点

が出来る「ことができる」はず。

「最も大切なのは、自分の直感、インスピレーションに従う勇氣を持つこと」とJ・ジョブスがつづっている。

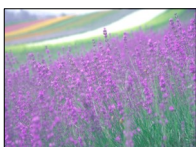
自分の内なる声、聞こえて来

ての物事は、明確にあなたより賢い人たちが作ったわけではない。

世の中、他者の評価は絶対的ではない。「だから世の中は変えられるし、新しい物を作ること

直に実践することです。この声は損得に執着すれば絶対に聞こえないものです。聞くのは彼方次第。あなたは何を聞くのですか。わが国はこの三十年間、世界を支配する「商品」を提供できたでしょうか。

政府予算のない漫画・アニメが世界を制する時代です。



(有)西川経営オフィスサービス

中村会計

事務所便り

2012年7月23日 (月) NO. 261

地域から明るい未来を作ろう